

書記	尾崎
文責	鶴沢

開催日時	開催場所
平成29年11月27日(月) 18時00分 ~ 20時00分	こども支援センターげんき5階研修室3
出席者・講師など	
居宅介護支援事業所70事業所 75名参加	大内病院 精神科認定看護師 井手 順子 先生
次第	
1 部会長 挨拶 2 ゲートキーパー上級研修の案内 3 精神疾患をもつ方の関わり方～ケアマネが知っておきたいポイント～ 4 事務連絡	
議事	

1.挨拶

- ①介護の日イベントの報告。ご協力、ご足労頂きました方、ありがとうございました。永年勤続褒章は業界を盛り立てていこうとする大切な行事の一つです。奮ってご参加ください。
- ②制度改正に関するニュースが出てきました。詳細については、年度末の定例会で企画する予定です。
- ③主任ケアマネ研修修了証について（未回収の方が居る事の周知）
- ④次回部会の周知について 平成30年1月22日（月） 同時間、同場所、POSネットワークとの合同研修予定。

2.ゲートキーパー上級研修の案内

井手先生より対応のポイント助言

自殺についての話題から逃げない。対応にあたっては「TALK」の原則が重要である。

すなわち、誠実な態度で話しかける（Tell）、自殺についてははっきりと尋ねる（Ask）、相手の訴えに傾聴する（Listen）、安全を確保する（Keep safe）

3.精神疾患をもつ方の関わり方～ケアマネが知っておきたいポイント～

①精神障がいとは

主な病名

- 1.気分障害（感情障害、うつ病、そううつ病など）40.1%
 - 2.統合失調症及び妄想性障害（統合失調症、妄想性障害、非定型世親病など）29.6%
 - 3.神経症性障害、ストレス関連障害（不安障害、強迫神経症、解離性障害、心因反応など）10.3%
 - 4.てんかん6.6% 5.心理的発達障害（発達障害）3.9% 6.症状性を含む器質性障害（認知症含む）2.6%
- ※詳細な症状や特徴は配布資料参照

②対応のポイント：アイメッセージが大切

- ・「I」私は・・・
- 「あなたは〇〇をしなさい」というユーメッセージを言いたくなったら、ちょっと踏ん張って、「私はうれしい」「私は助かる」「私は安心できる」という自分の感情を言い表すアイメッセージに変換
- ・心配事：医師に伝えられるように援助する。
- ・幻聴や妄想などの訴え：否定も肯定もせず傾聴。感情に寄り添う。
- ・病識がない場合：否定も肯定もせず傾聴。なぜそう思うのか裏にある本人の感情に焦点をあてる。

③他、高齢者の癲癇・パーソナリティ障害の特徴や診断・アルコール依存症などについて

④家族支援での注意点や家族の介護者の介護疲れの現状などについて

「怒らない工夫」6秒ルールの紹介

⑤障害者総合支援法について

⑥成年後見制度の仕組み

⑦ヨーロッパでの認知症サポーターの動きについて 日本発の認知症キャラバンメイトが欧州各地で活躍

⑧「チーム力」生かす工夫

4.事務連絡

次回平成30年1月22日（月） 18：30～ こども支援センター5階

テーマ： POSネットワークとの合同研修予定。